



牧野泰広
自由クラブ

保育を取り巻く 環境整備について

問 保育士採用の方法について伺う。

答 募集時期を約1か月早め、増加する低年齢児保育ニーズなどに対応するため募集人員を増やした。試験方法では、専門的、実践的な知識や技能を持つ人材を採用すべく実技試験、面接に重きをおいた試験方法へと変更した結果、昨年度と比べ倍以上の応募があった。

問 保育士の負担を減らすための取組について伺う。

答 業務改善の取組は、保育指導の計画作成では作成時間短縮のためひな型を用意したり、写真販売をインターネッ注文でできる方法に変更した。令和4年度に業務支援システムのコードモンを導入した。



問 タブレットなどの機器の充実と、業務支援システムの午睡監視機能なども活用し、更なる負担軽減に取り組むべきではないか。

答 設備の充実と、システム活用による業務フローの見直しなどを検討していきたい。

下水道整備について

問 下水道の接続を促進するための補助について伺う。

答 水洗化率の向上は課題である。実施する場合、制度内容、利用率、財源などの課題もある。他市の事例を研究するとともに、実施について検討していく。



鈴木貴晶
自由クラブ

県民の日学校ホリデーについて

問 本市以外の小中学校は学校ホリデーを金曜か月曜に設定し連休にしたが、本市は連休にしなかった理由は。

答 高校入試の日程が変更され、成績処理をスムーズに進めるため県民ウィークの最終日に設定した。今後、連休にしていく方向で検討していく。

デザインマンホールについて

問 蒲郡駅前から竹島水族館へ向かう歩道に、

イネープリング・シティの活動としてデザインマンホールを設置し、散策道路・竹島園地への導線としての活用をしてはどうか。

答 歩くだけでHappyを感じられるイネープリング・ファクタ



マンホール

ーとなりうると考える。関係各所と検討をしていきたい。

問 竹島園地への導線にタカアシガニやカピバラなど竹島水族館をイメージしたマンホール蓋や、QRコードを掲載したマンホール蓋を設置できないか。

答 令和5年12月にグラウンドマンホール仕様書を改正したため、その場所や風景に合ったデザインマンホールの設置も可能である。また、メーカーに確認したところQRコードも掲載可能と聞いている。設置する場合には主体や目的も考えながら取り組んでいく必要があると考えている。



伊藤享佑
市政クラブ

災害時対応について

問 仮に1時間前に、地震の予知ができた場合、どのような対策が可能であるか、伺う。

答 災害対策本部の設置や避難所開設、職員の参集、市民の方に対する周知など、ある程度の事前対応が可能になると考える。

問 地震予知システムであるOHBSシステムの導入について、市の考えを伺う。

答 実証実験や共同研究、協定の締結などにより、例えば、庁内での運用等で検証するのであれば、導入を検討できると考える。

災害時要援護者への対応について

問 本市で、必要があると判断された場合、保育園をこども専用の

避難所とする考えを伺う。

答 意義があるため、先進都市の事例を参考に検討する。

問 障害児の避難場所としてのこども福祉避難所の創設可能性について伺う。

答 現状を確認し、実現の可能性を検討していく。

医療的ケア児への対応について

問 医療的ケア児への支援体制及び看護師の早期派遣の仕組みの構築について伺う。

答 医療的ケア児の支援体制を関係課で検討する協議会を立ち上げる準備をしている。

